１． 春の仲間づくり月間総括

（１）仲間づくり月間の結果

５月３１日に月間が終了し、最終１２２人の新しい仲間を迎えることが出来ました。改めましてご奮闘いただいたみなさんに感謝致します。ありがとうございました。

３月の下旬から準備行動を始め、第２次行動以降は最後の５次行動まで全分会が節目標をクリアした結果、３目標（本部・支部・全分会）達成を果たし、拡大率は全都で上位を維持しました。そして支部独自の学習会や講習会、各種イベントを企画・開催し、訪問や電話掛けで多くの組合員とその家族に呼びかけ「春の仲間づくり月間」を大いにアピール出来た月間でした。

（２）６月１６日組織部会から

　完全収束とまではいきませんがコロナも一時期よりは落ち着きを見せ始め、月間の訪問件数や行動参加者も昨年同時期より増加し、分会の行動にも工夫が見られました。

【人見分会】・・・行動参加者にはその人に合った訪問先を選び、声を掛けやすくした。また事業所を積極的に訪問することにより対象者の掘り起しが出来た。

【鶴代分会】・・・若手の役員が若手組合員宅を訪問するなど「年代の近い人同士の対話」を重視した結果、話がスムーズにいくことが多かった。

【日吉分会】・・・「まずは顔を覚えてもらう」事を念頭に訪問件数を重ね、そしてメリット集をフル活用した。

【いちょう分会】・今回は参加者が固定してしまったが、積極的に組合員訪問を展開した。秋は群当番制のような形で各群長を呼び込むようにしたい。

【北美分会】・・・事業所を中心に訪問した。夜留守だったところには必ず昼間に訪問・電話掛けをした。

【中河原分会】・・即座に組をつくり訪問はスムーズに出来た。事業所を中心に訪問した結果、後半は加入者の伸びが顕著だった。

【国立分会】・・・ここ最近の傾向で若手が若手を呼び目標を上回ることが出来た。また、日中現場でも声を掛けるよう努めた。

多くの分会で事業所に依拠した拡大が数字に結びつきました。そこで得た教訓に学ぶと、秋に向けて早めにそして地道に事業所への世話焼きをしていく事が月間の成功につながることは間違いありません。今後も分会組織部長と事業所対策委員を中心に積極的に対応をお願いします。

（３）脱退対策

脱退には様々な理由がありますが、よく話せば阻止出来ることも大いにあります。土建のメリットを最大限訴えながら「脱退防止も拡大運動において重要な取組である」事を改めて確認し、実践していきましょう。